

平成 21 年 7 月 23 日
金沢市大豆田本町甲 5 8
澁谷工業株式会社
広報部 076-262-1495

“ 再生医療の製造支援システムに本格参入 ”

- プロジェクト・チームを新設 -

当社はこのたび、再生医療分野における細胞培養に関する設備を開発する、再生医療プロジェクト・チームを新設し、医薬および医療の分野での展開を強力に進めて参ります。

近年 iPS 細胞、ES 細胞や患者自身の細胞から、欠損または不全となった組織を再生して治療を行う医療が、夢の治療として脚光を浴びています。このうち iPS 細胞、ES 細胞を用いた治療は、まだ研究段階であり、実用化にはもう少し期間が必要ですが、患者自身の皮膚、軟骨、角膜など組織の一部を体外で培養し、障害組織と置き換える医療は既に実用段階にあり、一部製品化されています。しかし、ほとんどの培養操作は人手に頼ったものであり、培養できる数に限界があるため、治療費が非常に高価となり、再生医療の普及の妨げのひとつであると指摘されています。

このような状況下で、産業規模で低コストに細胞を培養するためには自動化システムが不可欠となり、そのシステムには自動化を実現させるロボット技術はもとより、安全に細胞を増殖培養させるための無菌環境技術や滅菌（除染）技術が必要となります。

当社では、ロボットを核とした自動化技術や、滅菌やアイソレータ 等の無菌医薬品製造設備など、再生医療に必要なコア技術で多くの経験を有しております。そこで再生医療を安価で安全な医療として発展させるために、社内の関連技術を集結し、再生医療プロジェクトを発足させ、細胞培養の自動化システムの開発・販売を開始いたします。

プロジェクト・チームは技術のリーダーに専務取締役の中俊明を、営業のリーダーに常務執行役員の澁谷英利を就任させ、専任社員 4 名の他、製薬設備の設計者、ロボット技術者、微生物制御技術者及び国内外の販促担当者など 10 余名で構成いたします。

当社では、数年先にはこの再生医療関連事業で 30 億円の売上を見込んでおります。

以上

：アイソレータ：内部空間を微生物学的に隔離し、無菌状態を維持する閉鎖系のシステムを意味します。内部空間を過酸化水素蒸気等で除染して無菌操作を行うための設備です。